

年末の慌ただしいさなかの総選挙、政権交代があり、波乱含みの2013年が始まりました。大伴家持（8世紀）が詠んだ「新しき年の始の新春の今日降る雪のいや重け吉事」という万葉集の掉尾を飾る歌があります。当時家持は因幡守（国司）でした。初春の雪は豊作等の吉兆の徵であります。今年も良いことが



新年度を迎えて 事業推進のための財政基盤を堅牢に

同窓会会长 北原 明

積もつて欲しいという願いもしくは祈りが込められているようです。私ども現代の庶民の思いも重なります。実はこの歌を教えられたのは、万葉集研究の泰斗故伊藤博先生（中学20回卒）執筆の新聞のコラムでした。かつて教員として薫ヶ丘に在職中に生徒諸君と共に先生のご講演をお聴きしたことがあります。万葉のお話に深く魂を揺さぶられるような感銘を受けたことを今も憶えています。

さて、今回は同窓会の喫緊の課題についてお話ししたいと思います。ここ数年の懸案とおり、事業推進のためには、その財政基盤の堅牢さが前提であります。現在、各会員からの年

字通り骨身を削るような尽力によつて昨年県の認可が得られ、この四月一日を以て新たに一般財團薫ヶ丘会としてスタートすることになりました。元はと言えば国の制度変更から出た課題でしたが、極めて煩雑な書類手続を要し、漸くここまで漕ぎつけることが出来ました。今後は、公益事業の取り組みを進めながら、母校への支援に一層意を用いてまいることになります。改めて事務局の労を多とし感謝いたします。

は卒業時、希望者に納入していただいているものを、入学時に全員にお願いしようというものです。

今年が母校にとつて実り多い年でありますように、併せて会員皆様のご健勝とご多幸をお祈りします。

会費1000円や終身会費（希望者）、在校生の同窓会館使用料及び卒業時の終身会費（希望者）等が主な財源ですが、支会の中には「開店休業」状態の所もあり、このままでいはづれ「財政の崖」がやって来ないとも限りません。そこで、昨年6月の総会でも検討課題としてとりあげられましたが、終身会費制度について新しい方途を目指すことを議論したいと考えます。現在

窓会に納入していただいているものの、入学時に全員にお願いしようというものです。

伊那北高等学校同窓会
平成二十五年度 定期総会のご案内

長野県伊那北高等学校同窓会の平成二十五年度定期総会を左記により開催いたします。

記

▼日 時 平成二十五年六月八日(土)

午後一時～六時

（受付）午後十一時三〇分より

▼会 場 伊那市生涯学習センター 六階ホール

講師：元最高裁判事 那須 弘平氏

▼催 物 講演会

議題 (一) 平成二十四年度会務報告

(二) 平成二十四年度会計決算報告

(三) 平成二十五年度事業計画審議

(四) 平成二十五年度予算審議

(五) 役員改選

(六) その他

※皆様お誘い合わせて是非ご出席ください。

同窓会長 北原 明

窓会から50万円以上が



発行
伊那北高等学校同窓会
TEL 0265(72)7312
FAX 0265(76)5585
<http://www16.ocn.ne.jp/~inakita/>
印刷 (有)マスマタ印刷

支出されることを考慮する

と、必ずしも筋違いとは言え

ないでしようが、ことは新入

生の保護者の負担増に関わる

ものであり、学校側やPTA

のご意見も伺いながら、同窓

会各組織の議論を経て、一年

後にはより良い形で実現され

る事を願うものであります。

今年が母校にとつて実り多き

年でありますように、併せて

会員皆様のご健勝とご多幸を

お祈りします。